



新年のご挨拶

平成 28 年 1 月 吉日

理事長 宇野 真人

寒中お見舞い申し上げます。

今年も、はや1月が終わろうとしています。今年が皆様にとってご多幸の年となることをお祈り申し上げます。

昨年は4月にネパールの大地震が発生し、その救援活動では皆様に、大変多くのご支援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

しかし、現地の復興は、一つは5月から9月までの雨季による諸作業の停滞、二つ目は国内の政治的な対立によるガソリンなど様々な資材の調達滞り、価格が高騰しているなどの事情によりなかなか進んでいないようです。OK バジも対応に苦勞されているようです。

また、タイの支援先「ひよこホーム」からは円安と物価高により寮の運営が危機的という悲鳴が聞こえています。こちらにも支援強化の必要があります。

世界を見渡すと、戦争により、多くの犠牲者と避難民に溢れています。悲しいことにその中には多くの子供たちがいることです。どんな理由にせよ戦争は悪の根源です。どれほどの憎しみの連鎖を生んでいることでしょう。

新年は、内外に多くの問題を抱えながら始まりましたが、私たちはネパール、タイ、インドの子供たちへの支援をさらに強化し、皆様とともにOKバジのいう喜びの連鎖を作っていきましょう。

今年も引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。

(1) OKバジからの新年のご挨拶

元旦当日に、OKバジよりEメールで新年のご挨拶状が届きました。

2016. 1. 1.

ネパールへいつもご協力して下さっている皆さま

新年明けましておめでとうございます。どんなスタートをされましたでしょうか。皆さまお元気ですか。ご無沙汰してしまい申し訳ありません。

2015年、皆さまからの温かいご支援金をすこしでも早く被災者に届けるため、あちこちの村をこの4ヶ月訪問しました。これまで私を通して建設してきました校舎の被害を復興するため、すでに被害の激しかった10校に支援金を渡してあります。

学校側はすぐに修理または新築に取りかかりたいのですが、ご存知のようにネパール・インド国境の交通が閉鎖され、日常生活にもかなり支障をきたしています。建築資材だけでなく、すべての生活必需品も不足してきており、価格が高騰しています。政府からの緊急支援で竹製の仮校舎がある所は、新築の工事は暫く様子を見てからと言って、工事はまだ始めていません。

さる12月24、25、26の三日間、4月の本震の震源地に近いゴルカへ行って来ました。ほとんどの家々は全壊に近い状態で、使用は不可能でした。人びとはこの寒さの中、トタンで囲った仮の住まいでこの冬を越さざるをえない状況です。

訪問したハルミ郡、カイチャルパニ村のラダ・クリスナ小学校（1～3年生在校）の崩壊した4教室をできるだけ早く新築することに決定しましたが、上述のような状況で資材の価格が少しでも落ち着くのを期待しながら工事の開始を待つとのことでした。

日頃厳しい環境で逞しく生きている村びとたちは、それでも明るく「また、来いよ！」と元気に声を掛けてくれ、手を振り合って別れました。

皆さまからのご好意を届けさせて下さい。よい2016年にして下さい。ごきげんよう。

ok Baji

(2) 平成27年「寄附金受領証明書」の発行

平成27年1月1日から平成27年12月31日までの期間に皆さまからいただきました当法人への寄附金（会費は含まず）の累計額を証明した書類「寄附金受領証明書」を1月22日に皆さま宛てに郵送いたしました。既にお手元に届いていると存じますが、2月16日から3月15日までの平成27年度所得税の確定申告で税額控除を申請するために必要な書類ですので、紛失しないよう十分ご注意ください。

もし、証明書記載のお名前、ご住所、寄附金額などに誤字、誤記がある場合には、お手数ですが直ちに当法人事務局の方にご連絡ください。訂正した証明書を改めて発行いたします。

また、認定NPO法人への寄附に係わる住民税控除は、都道府県、市区町村によって対応が異なりますので、詳細はお住まいの市区町村にお尋ねください。

≪編集後記≫ネパール大地震被災地の復興は、理事長の挨拶でも触れられている通り、蛇のように蛇行して前進がみられません。ガソリン、復興資材の調達難をまねいている、反新憲法・反政府派のマデシ族らによるインド国境道路の封鎖は、1月23日の議会で社会諸団体の比例参加を可能とする憲法改正が認められたことで緩和される可能性が出てきましたが、報道によれば別の問題もあるようです。それは、先月承認、創設された復興委員会が、業務遂行に200名以上の職員が必要なのに、現在20名程度しか確保できておらず、復興委員会が全く機能していないこと、政府は損壊した8千の公立校、2万教室の復興を優先課題として取り組んでいますが、損壊校舎の解体工事に地形上機械を利用できず、すべて手作業で行わざるを得ない地域が結構あることなどです。マンパワーの不足は、短期的に解決できないだけに復興スピードを改善するのは容易ではないようです。（編集担当：KT）

朝市の魚に塩ふるように雪 深沢暁子

認定NPO法人 いきいきフォーラム草の根支援

〒113-0023 東京都文京区向丘1-7-8 コミュニティ・スペースほのぼの内

TEL/FAX 03-3816-5346 E-Mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp

<http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiki-kusanone>